

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

NO.1255

19.7.30

暑中お見舞い申しあげます

暑い夏がやってきました。しばらくは「暑い・暑い」と言いながら涼しくなるのを待ちましょ。この間に水分を取りながら、適宜に冷房などを利用して熱中症にならないようご注意ください。

6月定例市議会報告



梅見連合自治会の「大規模太陽光発電（メガソーラー）事業に関する請願」に基づき市議会の反対決議は次のとおりです。
住民の同意を得ない太陽光発電施設の建設に反対する反対決議

現在、和歌山市において計画がなされている各大規模太陽光発電計画については、地域住民の十分な理解が得られぬまま事業が進められている。この現状を鑑み和歌山市議会では、令和元年（19年）5月31日「大

規模太陽光発電施設の建設に対する反対決議」を決議し、地域住民の不安が払拭されないまま行われる発電施設の建設は看過できないとの趣旨に基づき「水」を決議した。
しかるに今般、梅見地区を含む和歌山脈の一角に新たなメガソーラー建設の計画が浮上し、事業者は地域住民の十分な賛同を得ぬまま、和歌山市環境と大規模な太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例に基づき、去る7月9日に本条例の許可申請をするに至った。
そもそも、電気事業者による再生可能エネルギー電

気の調達に関する特別措置法は、政府においても多くの問題が含まれるとの認識から、この改定を検討しているところと見られる。

そのような現状にあって、同業者が全国各地で指摘されている様々な問題点、例えば、自然環境や景観への影響、歴史的資源の破壊等もなることながら、同業者

今週のフワ〜の人々

(その201)

入道雲を見て「さうさ...

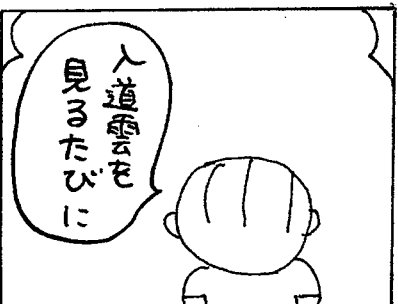
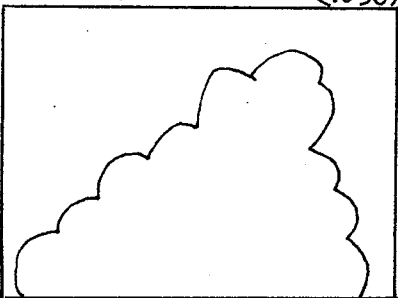
参院選挙と6月定例市議会が終わると同時に梅雨明けしました。とたんに爽しくなっていた暑い夏が一度に押し寄せてきた感じがします。空にはモクモクと入道雲が湧きあがっています。私は、入道雲を見て「さうさ、おれも入道雲を見て千ヨシと切なくなるのは、ほんの瞬間です。私は、そんな夏が大好きです。



ひめだ高松

フワ〜の人々

(1038)



に起因する住民不安(不安)が最大の課題であること認識するものがある。

このように同様の計画が事業者からなされるたび、該当する地域住民は、自ら

が住み、生活し、働く地域の安寧が侵されることを懸念し、時にはその被害に

り住民同士が分断され、地域コミュニティに深い傷跡を残すといった社会問題と化しているのである。

よって和歌山県議会で

計画がなされるようになり、この計画がなされることにより、当該地域の海産物資源が減少するおそれがある。また、計画に際しては、行政判断を定めるものとする。

また、司法に訴え、この事業計画を中止させること、あるいは、事業者が計画を中止する事業を中止することは、和歌山県環境と大規模な太陽光発電施設(備前町)事業の調査に関する条例を和歌山県議会の決議の趣旨を十分に

が最も高く、改憲は一桁合で最低だったことが分かりました。改めて民意は改憲を求めていないことが浮き彫りとなりました。

「朝日」では、「アベ首相に一番力を入れてほしい政策」について5項目をたずね、「年金などの社会保障」が38%となり、「憲法改正」は3%。「読売」で

は、「今後、アベ内閣に優先的に取り組んでほしい政策」を5項目から選んだ。「年金などの社会保障」は41%で、「憲法改正」は3%。「共同」は8項目に2つずつ回答できると、「年金・医療・介護」が48.5%、「憲法改正」は6.9%となっており、

日本共産党

改憲でなく社会保障が...

参院選後の朝日新聞・読売新聞、共同通信の各世論調査で、アベ政権が今後優先して取り組むべき課題について、いずれも年金など「社会保障」

が最も高く、改憲は一桁合で最低だったことが分かりました。改めて民意は改憲を求めていないことが浮き彫りとなりました。

理解し、それに基づいて住民の意見を尊重するよう、事業者は計画がなされることにより、当該地域の海産物資源が減少するおそれがある。また、計画に際しては、行政判断を定めるものとする。

原水禁止 2019年 世界大会 100フレット
 買って下さい。(B5版34頁)
1冊 310円

- ① 核兵器の非人道性と現状 ② 世界のいま ③ 国内のいま ④ 核兵器ととも
- ⑤ 核兵器も廃絶もない世界 ⑥ 核兵器のない世界をつくる など...

編集：原水禁止日本協議会
発行：...

「やまとだ通信」2019 7月号号届く

福井県伊達市野山戸田花水6で、このほど体験スクールを開いている福井さんからの「通信」です。

やまとだ通信
体験スクール
NO.30(最終回)
2019年 7月

そして今は一人

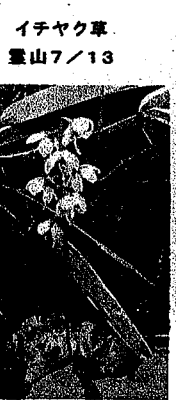
私はなんとかやっています
昨年9月に夫・徳行が亡くなり早や一年になるうとしてます。私達の古くからの友人や家族、兄弟、周りの方々からたくさん励ましや助けをもらって、なんとかやってきました。冬には薪ストーブのたきつけ方も上手くできました。春、ジャガイモを植え、ポテブコーン、豆、こんにやく、カボチャなどを育てています。

草でおおわれた畑をモグラたたきみたいと思います。草刈り、草むしりしています。畑の仕事は初めてなので上手くいきませんが、生前夫が、「俺は草に負けた」と言っていた調をくずしたのは昨年の7月、暑い日々が続いていました。その時の悲しそうな顔がおもいだされ悔しくなります。

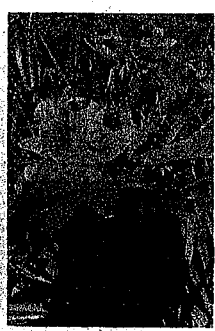


最後の家族写真になりました 食堂にて

《あとがき》
田舎での日々の暮らしを通信でお伝えして参りましたが、今回で終わりとなります。今までの愛読ありがとうございます。十年間続けることができ、感謝しております。



イチヤク草 雲山7/13



ノカンゾウ 佐渡6/3